



入学、進級おめでとうございます。新しい一歩を踏み出した春。皆さんのこれからの活躍がとても楽しみです。

さて、この生徒指導だよりは、「過ごしやすい学校生活をみなさんが送るために共に考え、行動に移す架け橋となるような通信」となることを願って発行します。学校全体でよりよい学校づくりを行っていきましょう。

今回は、学校生活で大切にしたいことを掲載します。今後配られる生活ノートに、より詳しい内容も記してありますので、そちらも参考にしてください。

1. 過ごしやすい学校生活を目指して

凡事徹底

時を守り、場を清め、礼を正す

時を守る・・・遅刻をしない、期日を守る

- ① 8:05の余裕登校
- ② 3分前の教室移動
- ③ 1分前着席

場を清める・・・整理整頓をし、掃除を施す

15分間しゃべらないで掃除をすることを通して5Kを身につける。

- ①「気付き」・・・気付く人になる。自分の状態、周りの様子。
- ②「心」・・・心を磨くことができる。我慢する力。
- ③「謙虚」・・・謙虚になる。裏表のない自分。
- ④「感動」・・・感動の心がはぐくまれる。掃除が好きになる。
- ⑤「感謝」・・・感謝の心がめばえる。人にもものに。



礼を正す・・・あいさつをする、返事をする

- ① 顔を上げて、目を見て会釈をしながら。
- ② 遠くからでも聞こえる声で。

2. 登下校について

みなさんが、安全に登下校するために、ルールを守りましょう。緑丘中学校では、次のように、登下校のルールを定めています。

- ① タスキをつける。
- ② ヘルメットをかぶる。
- ③ 交通ルールを守る。
- ④ 登下校のルール&マナー（右図）を守る。

『ちょっとくらい・・・』といって緩まないように。
『たかが』と『されど』に大きな差があります。
自分の命を守ろう！

そして、

緑丘中学校から交通安全を呼びかけましょう！



「② ヘルメットをかぶる」 「③ 交通ルールを守る」を深掘り！！

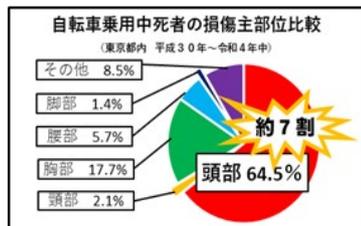


自転車死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っています

自転車事故で死亡した人の約7割（注記1）が、頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用していない場合の致死率は、着用している場合と比較すると約2.3倍も高くなっています。

自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。

（注記1）平成30年から令和4年までの東京都内における自転車乗用中死者の損傷部位の割合



交通事故による被害を軽減するために、子供にヘルメットを着用させることはもちろん、大人もヘルメットの着用に努めてください。

引用：石川県警 HP 自転車の交通安全対策・警視庁 HP 自転車用ヘルメットの着用

ルールを守る！ = 命を守る！